

さあ！おまちどうわ 1年生を迎える会のはじまりです

きょうは、上級生のおにいさんおねえさんが、僕たち1年生を迎え楽しいゲームをして遊んでくれます。でも、遊びの前には1年生の自己紹介があるんだよ、ちょぴり恥ずかしいけれど大きな声でお返事です。

入学式から3週間、4月24日東白川小学校で「1年生を迎える会」がありました。スローガンは、「なかよく！たのしく！ふれあおう！」です。この日は、あいにくの雨もようでグラウンドのコンディションが悪く急きよ体育館に場所を変更して会を始めました。

小学校の生活には、1年生から6年生までの縦割りで児童が行動する“なかよしグループ”があります、そのグループでゲームを楽しみ、触れ合った一日でした。

たのしい時間を、ありがとう。

広報 ひがししらかわ

1998
平成10年

5

No.443

人口の動き	
—4月末住民登録人口から—	
世帯数	900 世帯
人口	3,251人
転入	16人
転出	12人
出生	1人
死亡	2人
先月と比較して3人増 昨年と同月と比較して 44人減	

母子センター助産婦の
交替を追って…

安心を ありがとう



産婦人科病院での出産が主流の昨今、助産婦とお母さんの心が通う貴重なふれあい産院「東白川母子健康センター」の助産婦さんの引退。その足跡と、後を託された若い助産婦のちょっとしたドラマを追いました。

四月一日、村の助産施設である母子センターに新旧交替的一幕がありました。三十年もの長い現役生活から引退されたのは助産婦の安江とくよさん。ちょうど、東白川村母子センター設立当初からの助産婦さんです。

安江さんはこの間二千五百人もの赤ちゃんを取り上げられました。村の現在の人口は三千二百人余、それを思えばすごい人数です。とくよさんが、助産婦になったきっかけは二つあって、その一つは、とくよさんの母親の「女は手に職を付けて

おくといいい」ということばでした。当時は戦争もあり一家の大黒柱を亡くした家族は生活が大変でした。娘を思う母親はもしもの時を思いそんな話をしたのでした。

もう一つは、十六歳の時京都府の小児科医院に勤務した折、先に助産婦免許を取得した先輩の勧めからでした。

その当時は勤めている医院に迷惑をかけてはいけないと、先生の往診の同行先で診察の待時間を利用して参考書を読んだり、寮での消灯後はふとんの中で懐中電気を照らして勉強に励む日々を送りました。

その甲斐あってみごと（産婦人科）の免許を次々に取得、その後名古屋で保健婦の免許も取得しました。

つらかった

家庭との両立

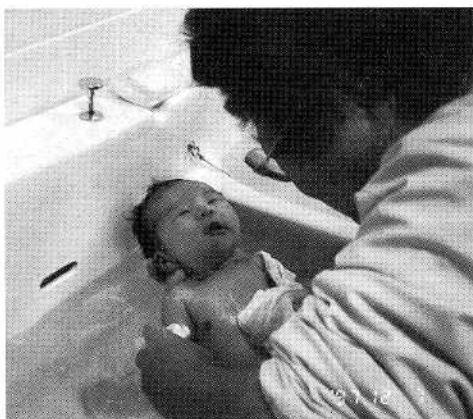
村に帰り助産婦活動を続けている頃、「村にも助産施設をつくってほしい」「安心して赤ちゃんが産める施設を」という婦人の声が実現し、母子健康センターが建設されることになりました。とくよさんは要請されて助産婦として参加しました。しかし女性が戦後、仕事と家庭を両立することは大変なことでした。

『「家庭の事はなんでもこなし人の中傷に負けない強い心をもつ」「健康が大切に物事を、良い方向にとらえる」

「物事を真剣に受け止める」。「下から人をみてうらやましがらず、今の自分の立場を感謝し一つづつやっていく」いつも自分にそう言い聞かせがんばって来たとか。今から思えば、主人や子供には大変苦労かけた「人間の手は二つ、体は一つ」なので、やってやりにくくとも出来ず悲しい思いを子供にありあわせたり、自分もどれだけ涙し、思い悩んだときもあったことか。

自分がここまで続けてこれるのは、今は亡きご主人や家族の協力と職場・周囲の人に恵まれたことでも感謝しています。と淡々と語るとくよさんの言葉が胸に染みました。

長い間、主婦と助産婦の仕事を両立させて来た高齢のとくよさんが引退できるのは、現在の主任助産婦である野村さんのほかに四月から新任助産婦が採用され、安心して後を託すことができるようになったからです。



赤ちゃんはとくよさんの中であれしそう

「あとのこと

たのんだよ」

「心配しないで

まかせてね」

とくよさんと二人で母子センターを守って来た野村さんに「助産婦にならないか」と話が舞い込んだのは十年前でした。

母子センター職員の高齢化を心配した村の思案の末のことでした。それから助産婦をめざし多忙な日はじまりました。

幼い子を家族に託し岐阜市にある助産婦学校へ通いました。実習の頃は岐阜に泊まることも続きました。

一年後、無事助産婦の試験に合格。晴れて東白川母子センター勤務がスタートしました。

野村さん自身、助産婦となった二年目に第三子を出産、ますます助産婦としての責任やすばらしさを感じ、仕事への思いを深めました。

とくよさんと同じく、家族、特に子供に対しは、「母としての部分を捨ててきた」と、声を詰まらせた野村さん。「自分が、取り上げた子供たちも元気に育ってくれている。」



若い母子の世話をする野村末子さん

その様子がわかるだけでも嬉しい」とこの仕事が続けられた喜びも、同時に話してくれました。

よろしくね！新米助産婦さん

野村さんの後輩として、そしてとくよさんと入れ代わって、四月一日から母子センター勤務をスタートしたのは安江こずえさんです。

平成十年四月二十一日は、安江助産婦が助産婦として第一号の赤ちゃんを取り上げた記念日となりました。

その日、研修で村外に出ていた安江さんは、帰るとすぐ出産に立ち会うことになりました。分娩室では、緊張して頭の中が真っ白になってしまい、何かなんだかわからないうちに終わってしまっただようでした。

「学生の実習と違うことは、比較にならないほど責任があること。これからは、妊婦さんが安心して出産ができ

よう信頼の得られる助産婦になりたい」とこれからの抱負を語りました。安江さんが助産婦になる事は両親にも秘密で、郷里が助産婦を必要としていることがわかると、重要なポストの看護婦を退職。助産婦学校に入学したがんばり屋です。

ちょうど取材の日出産がありました。はじめてのお産に不安がる妊婦に、「がんばって、赤ちゃんもがんばってできるよ」と励まし、お産が少しでも楽にできるよう気を配る。取り上げた赤ちゃんに、「あんたも、ようがんばったね」と声をかけながら沐浴させる…。委託助産婦の曾我助産婦とともに、手際良く世話をすることができました。

この日は、里帰り出産か迷った末、地元で出産された曲坂の村雲理佳さん。ご主人の昭仁さんの立ち会いのもと無事、女児を出産されました。「できるだけ、主人に立ち会ってほしかった、里帰りすると、それもでき



出産直後喜びの村雲一家



生まれて間もない赤ちゃんの沐浴をする安江こずえさん

ない。近くに相談できる助産婦さんがみえたので心強かった」と、理佳さんが話されると、ご主人も「子供もお母さんも頑張ったし大変嬉しかった。安心できる施設があつてよかった」と、村で出産できた喜びをかみしめてみえました。

赤ちゃんに、安心の扉を

東白川村母子センターも設立から三十年余り続いてきました。

そして出産だけでなく、お母さんの検診、赤ちゃんの健康、子育ての相談から思春期教室まで、奥の深い仕事を助産婦さんたちが引き継いできました。とくよさんが築いてきた「安心」を中堅と若い助産婦のコンビが受け継いでこれからも、赤ちゃんはお母さんのお腹の扉を安心して開けることができお母さんは安心して出産することができ東白川母子センターであり続けることでしょう。

元気村の『出来事情報』



春とたわむれるチョウ
(西洞 河田 孝さん)



左合先生のマジックショー

待ちに待ったゴールデンウィーク。村でも二か所でイベントが開催され、多くの人でにぎわいました。

三日に親田地区で行われた恒例の「つちのこ探索イベント」は十年目を迎え、名称も「つちのこわらびデルデル大作戦」と心機一転、つちのこはもちろんのこと山菜採りにも同時に楽しんでもらおうと開催されたものです。

しかし、この日は朝から注意報がでるほどの大雨となり、人出を心配するスタッフの気持ちをよそに総勢約二百五十人の探索隊が参加、棒を片手にカップ、長靴と雨対策にも準備万全で地元下親田の安江雅人さんを隊長に探索を開始しました。

つちのこイベント
こもれびフェア楽しむ

満
喫



家族でつちのこ大探索のはじまり

凝らしたステージイベントにご満悦。中でも東白川小学校の左合悟先生のマジックショーは、つちのこやその卵が出るユニークな手品を披露、会場から大きな拍手が沸いていました。

一方、こもれびの里では、三日から五日までパンづくりや陶芸など、普段は予約制の体験が予約なしで出来る「こもれびフェア」が開催され、村内外から多くの人たちが訪れました。

中でも愛知県からのカップルは「偶然みつけたパンフレットでこもれびの里のことを知った」とこの会場を訪れ、二人は「いろいろ体験できて楽しい。また機会があったら来たい」とパンが焼き上がる間にツールアートを楽しむなど、休日のひとときを満喫していました。



こもれびの里でツールアートを楽しむカップル

今年はずちのこ探索の賞金一〇九万円に加え、わらび採りにも賞品が懸かっているとあって山菜採りにも熱が入っていました。結果は、残念ながら今年もつちのこは発見できませんでした。参加者たちは趣向を

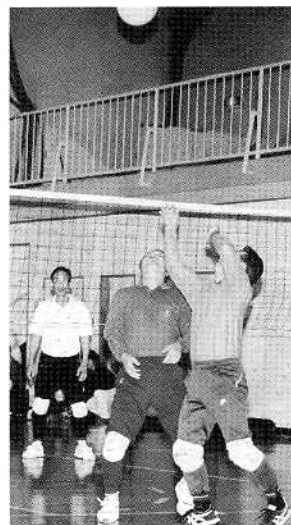
1点を競う白熱した
ビーチバレー大会

激
戦



スパイクにも力が入る

チームワークのよい壮年チーム



全十四チームが頂点をめざして熱戦を繰り広げた「さわやかビーチバレー大会」が、四月十日から三夜に渡って、小学校と中学校の体育館を会場に開催されました。

手に汗にぎるシーンが続出したのは若い主婦たちが勢揃いした第一部。レシーブ、アタックと見事なボールさばきに一点を競うシーソーゲームが続出。第二部は、四十五歳以上の婦人の対戦で、掛け声も良く、パス回し、時折でるスパイクに思わず息を飲む瞬間もありました。また、第三部は壮年男子で、迫力ある戦いを見せてくれました。

第一部/①たいらっち②日向A③信号機 第二部/①ひまわり②かぼちゃの勢ぞろい③花の木フレンズ 第三部/大明神②平・大口③五葉

話題集まれ!

初摘

ハウス茶園で
一足早い新茶を!!



一年振りの茶摘みに精を出す皆さん

真夏を思わせる天候となった四月二十八日に大沢地区にあるハウス茶園で今年初の茶摘みが行われました。

このハウス茶園は、東白川村茶業振興会が「八十八夜」に間に合うように村で初めての試みたもので新たな白川茶の販路拡大に取り組み試みでもあります。

作業をする皆さんは手摘み、刈り込み、計量と流れるようなリズムで百七十五鈴のお茶を収穫。ここで摘まれたお茶は、その日のうちに加工されて、五月三日



組合、商社、小売りが力を合わせて新茶サービス

を販売日と定め、白川茶屋をはじめ町のこやこもれびの里のイベント会場などで村内一斉に売り出されました。

この時期に、地場産の新茶が味わえるとあって会場を訪れた皆さんは、新茶のサービスに手鼓をうっていました。

活躍

岐阜県選抜チームの一員となる

この春休みに、全国選抜ジュニアバスケット大会が東京で開催され岐阜県からも選抜チームが参加しました。

東白川中学校三年生の今井亮輔さん(下野)が岐阜県代表の十三人の中選ばれ毎週強化合宿をこなす全国レベルに挑戦しました。その結果予選リーグ第一試合では香川県チームにWスコアで快勝しましたが、東京

Aチームに四十一対三十六と善戦むなしく敗退。今井さんはチームの一員として今回参加できたことについて、「普段の練習以外にも、たくさんプレーの内容が覚えられたことや、岐阜県内のあちこちに友人ができ、交流・勉強

ができたことが自分にとって、とてもよかった。これから、バスケットをがんばりたい」と話してくれました。



▲ 東京と対戦の様子
(中央区スポーツセンター)

▶ 出発前に村長から
激励を受ける今井さん



福祉

チャリティー
春の民舞まつり



チビッコアイドルたちの競演

四月二十六日に、近隣町村の下呂町、白川町、加子母村、東白川村の舞踊愛好家たち約二百人余りが参加し、はなのき会館で民舞まつりが開催されました。

このまつりは、チャリティーを目的とした活動で参加者が一曲三千円を出資して会に必要な経費の残りを福祉団体に寄付するものです。

きれいに着飾った子どもたちは普段の練習の成果を広いステージの上で発揮していました。

出番を待っている子どもたちが、話をしていました。「ねえドキドキする」「だいじょうぶやて練習したことやれば」おとなびた口調で小さい子を励ますのは、歳が一つぐらいしか違わない友だちでした。

日曜日とあって出場する家族の応援や、こもれびの里へ遊びにきた外来者など、会場もにぎわいをみせていました。

普段は、仕事や家事に精をだしている婦人たちも、この日はばかりは艶やかな変身ぶりです。

まるではなのき会館から大劇場へ移ったようでした。舞台裏では出場者に混じり子どもたち化粧をしたたり、食事を取らせる母親の姿があり額には汗が光っていました。

なごやか村の『人情報』

お便り

美しい自然の故郷を思う

恵那郡福岡町
伊藤 かつえ



嫁いで福岡町へ転出された
伊藤かつえさん

された人も、
そう思ってみ
えることでは
う。
私の故郷、
東白川はいつ
までも自然の
美しい村であ
つてほしいもの
です。

東白川を出て、新しい場所での生活が始まり、そ
ろそろ二か月になります。慣れない場所での生活は
新鮮さもあるけれど、なんとなく心細さも感じてい
ます。東白川にいた時は、だれかれとなく知った人
と声をかけあい、話をし、いつも誰かと触れ合っ
ていられたんだ、恵まれていたんだと、村外へ出てみ
て初めてわかりました。
故郷ってというのは(有名な言葉にあるとおり)離
れてみて大切さがわかるものですね。こちらにも
自然には恵まれているのでつくしを採っては、保母
の時よく子供たちと、春の野山で遊んだことなど、
思い出しています。やっぱり、木や草花をみている
と心が和みますね。私と反対に他から東白川へ移住

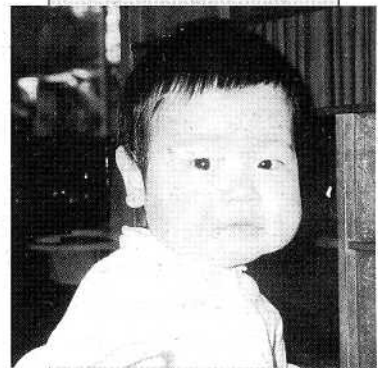


日曜ふるさと市にて

わが家のスター



このコーナーの子ど
もたちみな同い年。
10年後、20年後「伝
報」をみれば10才/
1歳のあの子の顔が...



▲牧野 哲也ちゃん
(友紀央さん・美幸さん
=陰地)

仲間をたずねて



今年度、二回目の活動を行う
「ひばりクラブ」を訪問しまし
た。このクラブは、保健福祉セ
ンターでリハビリ教室として開
催しているもので、現在十一人
の会員が参加しています。開催
時間は午後一時から三時三分
までの二時間余。まず教室に来
た人から血圧脈拍測定や問診な
どの健康観察を受けます。それ
が終わると参加者全員で歌をう
たったり、リハビリ体操などを
楽しみます。内容を季節ごとに
工夫してあることが楽しみのポ
イントになるようで、今月は
「茶摘み」の歌を歌った後、チ
ラシで紙飛行機を折りました。
折った紙飛行機で世界旅行の



楽しみながらできるリハビリ体操

始まりです。飛ばした距離が旅
行先になります。ハワイ、ナイ
アガラ、ロンドン：「あれ、○
○航空の飛行機やとみえて墜落
やわー」(乗務員は、若い方が
ええな)など冗談を交えては一
人二機つつ飛ばしました。
体操で体を動かしたり話をし
たり参加者同志の交流は、心身
共にリハビリができるようです。
次回は、何ができるか楽しみ
なひばりクラブでした。



みんな仲間だ!

消息 4月1日～4月30日

(敬称略)

- 誕生おめでとうございます
〔曲坂) 村雲 昭仁〕^{未宇}
理佳]
- いつまでもおしあわせに
〔村雲 治幸(神付)
島倉 洋子(上親田)
- おくやみ申し上げます
栗本 裕子 74歳(平)
栗本 千文 73歳(柏本)

職場から

新しいおまわりさん

今回は、春の定期異動で岐阜南警察署から赴任された長屋良和巡査部長を訪ねました。

この職については、大学時代に親しい友人を交通事故で亡くし「事故を少しでも減らせた」という気持ちがかっかけということです。

この村も道路の整備が進むにつれて交通量も増えるので、長屋さんは「交通事故ゼロをめざしたい」と抱負を語ってくれました。

自然が豊かでのどかなこの村。「皆さんと親しくなり、魚釣りやいろんなことを覚えたい」と田舎の生活を楽しみたいとか。

しかし「ヘビは苦手」悪に立ち向かう長屋さんでもこれだけは共存できないようです。



岐阜県加茂警察署
東白川警察官駐

今回は四月十一日に挙式された神付の村雲治幸さん洋子さんご夫婦を訪ねました。
ご主人は七年前前大学を出るとすぐ村へ帰り家業を継がれ、また奥さんは二年前に村にUターンされました。お二人の出会いはお互いの友人と共に偶然立ち寄った店で出会ったことが交際



村雲治幸さん・洋子さん夫婦

こがれていた事もあり、すぐに結婚が決まり一年四か月の交際にピリオドをうたれました。
お二人とも「はじめは女の子で三人ぐらい子供がほしい」と意見もピツタリで、お互い気遣い合ったりほほ笑み合いながらあたたかい雰囲気の中でお話しただきました。

の始まりでした。その後、グループでスキーや魚釣りなどデートを重ねるうちに、ご主人は「この子なら家庭的でいい奥さんになる」と思いプロポーズしたところ、奥さんはかねてからご主人にあ

ホットアングル



で、全国いたるところで開催されるようになりました。電化製品・衣料品をはじめ玩具など各自持ちよっては、販売されています。

昨年の秋フェスタで試みたフリーマーケットは、少しづつ定着してその人気を村内に広めています。つちのこ館でもふるさと市を四月から日曜日に変更し、イベントの一つとしてフリーマーケットを開催しました。



フリーマーケットで買物を楽しむ主婦

四月十九日に出品された商品は自転車・陶器類など、ところ狭しと並べられ、当日やってきた主婦はどれがいいか品定めをしては買い求めていました。掘り出し物を見つけたり売手と買手の駆け引きが楽しみなフリーマーケットですが、出会い交流の場としても一役買いそつです。

知ってほしい『生活情報』



今花盛りの可愛らしい青い花
ツルニチニチソウ(平 安江政次さん)

社協から

社協会費に
ご協力下さい

来月は社協会費の納入月です。今年もご協力をお願いいたします。

事務囑託員(組長)さんを通じて毎年納入頂いている社協会費は、社協の運営費や地域福祉活動に活用しています。

詳しくは、六月二日の新聞折り込みを御覧下さい。

課題を追う

科学文明の鬼っ子

ダイオキシシン

Ⅱ 塩素を含んだ製品に注意 Ⅱ

いま、最も「猛毒」「最悪」と恐れられているのがダイオキシシンです。しかし、これほど恐れられていながら、その実態はというと分からないことが多すぎます。まずその恐ろしさを挙げれば、発癌性・免疫不全・栄養阻害・胎児への影響を引き起こすと言われています。

人体に影響のあるダイオキシシンの量は、ピコグラム単位で表されますが、一ピコグラムは一兆分の一グラムです。環境先進国といわれる北欧では、ダイオキシシンの耐用一日摂取量をゼロから五ピコグラムと定めています。

日本では「暫定基準値」として十ピコグラムとしていますが、このように国際的にも基準が統一されていないこと自体、ダイオキシシンの存在と影響が問題となつてからの歴史が浅く、究明されていないことが多いことを示しているといえましょう。

もう一つ、この問題をあいまいにしている原因は、その発生源があまりにも人々の生活と、それを支える産業活動に密接にかかわり合っているという事実です。

ダイオキシシンは単純にいうと「塩素」を燃やしたときに発生しますが、その塩素は、農薬・医薬品・塗料・衣料など、ありとあらゆる生活用品に含まれているのです。とくに、プラスチック、ビニールの類は石油から作られますが、製造過程で塩素が使われるものがあります。

このようにして出来たいわゆる「塩化ビニール樹脂」は私たちが日常使っているラップ、食品包装などの商品になっていますから、急に製造や使用を止めることが困難です。しかしこれらの製品も燃やさなければ問題はなく、燃やしても高度の処理をすればよいわけですから、これから分別収集によるゴミ処理と、塩素を含まない商品の知識普及などが行政の課題として重要になります。村では今年度から本格的に取り組んで行きます。



▼ 温泉たまごを 作ってみよう ▲

温泉たまごは、温泉地しかできないと思ってしまうせんか。家庭で簡単にできる方法が、あります。

レトルト食品を食べる時、鍋に湯を沸かしその中で食品を温めますが、その湯を利用して火から下ろした鍋にたまごを入れフタをし、二十分から三十分おく。それで出上がり。

たまごが多い場合は、途中で熱湯を鍋に注ぎ足すことを忘れないこと。

器にあげた温泉たまごに刻みネギやおかかを、好みに応じて入れたりだし汁、納豆なども合います。

ゆでたまご同様、油を使用しないため、カロリーも低めです。

ダイエットメニューにもお勧めです。

▼ からだの赤信号 毎日ヘルスチェック ▲

からだは異常を感じると、なんらかの形で赤信号を出します。自分の健康を気づかうためには病院で定期健診を受けるだけでなく、毎日の生活の中で簡単なヘルスチェックを行うことが大切です。

顔色が悪く薄黒いときは肝臓病、赤紫色のほおは心臓病、顔にむくみがあるときは腎臓病の恐れがあります。

唇が乾いたときは発熱、ビタミンC・Bの不足、舌が赤いときは貧血、糖尿病、白っぽいときはストレス過剰の疑いがあります。

すぐ病気だと神経過敏になるのも、ストレスになります。自分のからだは、自分で気をつけ健康的な毎日を過ごしましょう。

行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会】

タオル=安江香(大明神)
使用済みテレホンカード・古切手
=今井ちづ(柏本)
現金1万円=寺田広司・玉木茂
現金1万円=安江諄六(大明神)
現金10万円=第11回春のチャリティ
民舞まつり参加者一同
現金55,026円=第11回春のチャリティ
民舞まつり募金

【社会福祉施設整備指定寄付】

現金10万円=安江とくよ(平)
【東白川中学校指定】
現金20万円=桂川繁子(日向)
【東白川小学校指定】
現金20万円=桂川繁子(日向)
【東白川中学校】
雑巾20枚=五加婦人の会
【東白川小学校】
雑巾100枚=熊崎とみの(下野)
雑巾100枚=五加婦人の会
【神土保育園】
わらぼうり70足=田口貞造(中通)
わらぼうり35足=安江かく(中谷)
絵本10冊=鳥倉宏之(平)
木製ペンたて40個=安江勇造(下親田)
【五加保育園】
雑巾20枚=五加婦人の会

肝臓病の早期発見は、血液検査です

肝臓病は、現在とても増えている肝臓全体の七割傷つかないと、自覚症状がでないことをあなたは知っていますか。肝臓は、内臓で一番大きな臓器であり、さまざまな働きをしています。働きとしては、蛋白質や脂肪などの栄養を蓄えることや、体に有害なものを解毒し体外に排泄することなどです。肝臓病の特徴としては、沈黙の臓器なので発見しにくく、かぜに間違いやすいなど知らない間に、進行してしまいます。さあ、定期的に血液検査をうけ早期発見に心がけましょう。

保健婦だより

岐阜県高齢者・障害者住宅整備 資金の貸付制度について

平成十年度岐阜県高齢者・障害者住宅の受付が始まりました。
受付期間/平成十年四月一日～十一月三十日
貸付対象者/高齢者:六十歳以上の親族である高齢者と同居又は、同居予定の方。障害者:障害者身体障害者手帳一～四級の所持者及び総合判定Aの療育手帳所持者又は、障害者と同居の方
貸付対象建物/高齢者又は障害者の居室、便所、浴室の改造(新築の住宅は、対象外)
貸付金額及び利率/三百万円。年三割以内
返済方法/一年据え置き九年償還
担当窓口/役場保健福祉課
くわしくは/役場保健福祉課 有線五一五六

東白川村障害者いきいき 住宅改善助成金について

助成の対象者/身体障害者手帳所持者で下肢、体幹又は視覚障害の一、二級に該当する方で所得税課税額が十四万円以下の方。
助成対象の住宅の改善/障害者の日常生活の利便を図るための既存住宅の浴室、台所、便所等の改築。
助成金額/七十万円
役場申請窓口/役場保健福祉課
くわしくは/役場保健福祉課 有線五一五六

投票しやすくなります

最近の各種選挙における投票率は、低下傾向にあります。投票しやすい環境を整えるため、

め、公職選挙法の一部が改正されました。
○投票時間が延長され、午後八時までとなります。
○不在者投票の時間が、午後八時までとなります。

○不在者投票が認められる事由が緩和され、例えば次のような方も不在者投票ができるようになります。

★自営業の方などや、冠婚葬祭などの予定がある方

★レジャーや買い物などの私用で、投票日に投票区域にいない方

★引越などをして、他の市町村に住んでいる方

これらの改正内容は、平成十年六月一日から施行されます。

なお、くわしいお問い合わせは、
役場 総務課 選挙管理委員会へ

輝く田舎の『文化情報』



加子母村と親善ゲートボール大会

野菜に季節感がなくなったと言われる。スーパーへ行けばキュウリやナスは一年中お目にかかれる。そんな状態だから旬の山菜に人気が集まるのでしょうか？

ちよつとしたブームのなかで、王者と言われるタラの芽などは受難の季節を迎えています。

そこで少しこだわって言うならば、「山菜」の「菜」は「な」と読みます。「菜」は「なっぱ」の「な」です。

タラの芽は菜でしょうか？。コンテツとよばれるコシアブラも、柿の葉ももみじの葉も、藤の花も、てんぶらにすると大変美味しい！。いずれも「菜」ではなく「木」の葉や花です。

堅いことをいわずに引くくるめて山菜と呼んで不都合はありませんが、こうして考えて見ると「木の葉」というものは私たちの食生活をけっこう彩ってくれています。食べるものではないが朴の葉などはその代表であり、山村独特の文化を感じます。

旬の話

しゅん

山菜

「自分の顔」▶

村雲有紗さん（西洞）
東白川小学校3年生



私の作品

3年生も出た。

▶「友達の顔」
稲垣美緒さん（陰地）
東白川小学校4年生



▲「大ジャンプ」
田口裕梨さん（神付）
東白川中学校3年生



▶「大空へ」
今井郁恵さん（大沢）
東白川中学校3年生



▲「五月の空におよげよこいのほり」
共同作品 五加保育園年長組

心のオアシス

東白川村百科

みつばつつじ

紅紫色のミツバツツジの花が村の春を彩っていたのはついこの前のこと。

まだ野山に色が少ない早春、葉よりも先に、一番に花を咲かせて春を呼び寄せたあのでやかさにくらべて、すっかり新緑に衣替えした今では地味でさえあります。

緑のその葉を良く見ると枝先に三枚ずつ輪生していて、これがミツバツツジと名付けられたゆえんです。

村では昭和55年にこの花を「村の花」に指定しました。

ミツバツツジは本州の関東地方から近畿地方東部までに広く生育しており、東白川村はまさにその分布の中心にあると言えます。

村中どこでも見られて、昔からだれにも親しまれた花。いち早く開花して村人の心にも春を呼ぶ花。豪華ではないが普段着の親しさと素朴さが、東白川らしい印象を醸し出すという意味で「村の花」としてぴったりです。

痩せ地でも育つ丈夫な性質ですが、移植にはやや弱いので、自生のものをその場で刈り残してやれば、3年もすればたくさんの花を開きます。

本

「勇氣凜々」

高杉 良 著

放送局の型破り営業マンとして実績を上げていた武田光司は、サラリーマン生活にあきたらず独立する。経営者として持ち前の明るさと根性で困難を乗り越えていく。

信用を得た会社の成長と共に、見事にベンチャー企業を育て上げた男のロマンを描いた小説です。



「じてんしゃにのりたいたい」

グレギー・ドゥ・マイヤー 著

元気いっぱい、ちょっとおこりぼうの女の子、ベス。ピカピカの赤い自転車を買ったのに何だか泣きたい気分。だって、乗りかたがわからないんだもん！。とにかく前へ進んでみよう…バランスをとりながら前に進もうという勇氣を与えてくれるお話です。

短歌

園児等の歓声ひびく遊び場に満ちて明るし春めく日差し

安江 守平

猫柳白きうぶげに散りかかる春の淡雪つめたく見ゆる

早瀬 久子

ぼっかりと黄楊の垣根に積む雪を絵に描きたき思ひに眺む

安江 澄

いろり火を大きくたいて母の背にお灸をすえし少女老いたり

三戸 きり

息子等も皆親となり安らぎの日々をひそかに吾老いにけり

安江 節子

フキ味噌を作れば春の香のたちて夕餉の膳にしばしただよ

菊田 清美

村捨てし人の屋敷に住みつし猫もさまよう恋の季節を

安江 龍玉

納むべきお墓の前で胸に抱く夫の遺骨を離し難くおり

安江とくよ

雨の午後春の扉のひらかるる合図の如く春雷轟く

小林 道子

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

老いて病む友を見舞いて吾も亦人ごとならじと病室罷る

安江嘉久一

絵手紙のはがきは春を運び来ぬ路のとう葉の生きいきとして

今井 かな

お互いに励まし合いし幼友千代恵女逝けり天寿を終へて

伊藤 重雄

水澄みしわが白川も汚れきて下水処理法今宵聞おり

伊藤 美枝

まろ

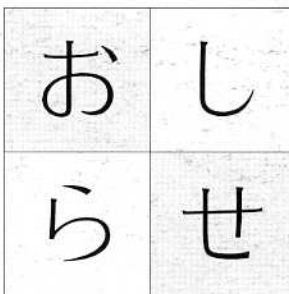
第11回 全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクぎふ'98

開催期間 平成10年10月3日(土)～10月6日(火)

その他の全市町村でもふれあい種目を実施する、生涯スポーツのショーウィンドー「スポレクぎふ'98」にみなさんも来て、見て、参加、そして応援してください。

今秋、生涯スポーツの全国イベント第十一回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクぎふ'98」開催期間 平成10年10月3日(土)～6日(火)が、総合開会式を岐阜メモリアルセンター(岐阜市)を会場とし、フォークダンスなどの種目別大会を県下二十九市町村を会場として開催されます。



連絡 募集 行事

スポレクぎふ'98

新規学校卒業生求人

取り扱い説明会

平成十一年三月新規学校卒業生の求人取り扱い説明会が事業主対象に開催されます。

日時/平成十年六月五日(金) 午後一時三十分

場所/美濃加茂市文化会館
くわしくは/美濃加茂公共職業安定所 ☎〇五七四一二五一一一〇八

第七回 岐阜県失語症の集い中濃大会の案内

病気の後遺症からことばの不自由になられた方への理解を深めよう。

内容/体験発表・講演「障害を持つ人の生きがい」・みんなで言語リハビリとゲーム

日時/平成十年五月二十四日午後一時～三時四十分
場所/美濃加茂市中央公民館(市役所東隣)

参加費/五百円
くわしくは/中濃地区言語障害友の会 ☎〇五七四一二五一一一〇八

「野鳥と植物観察のつどい」参加者募集

御嶽自然の家周辺の野鳥と植物を観察しながら、自然に親しむつどいの参加者を募集しています。

野鳥観察のつどい/平成十年六月十三・十四日

植物観察のつどい/平成十年六月二十七・二十八日
場所/岐阜県御嶽自然の家
定員/十六家族又はグループ

参加費/一人 二千五百円
申込方法/官製ハガキか、FAXで「野鳥観察のつどい申し込み」又は、「植物観察のつどい申し込み」と題し、郵便番号・住所・氏名・年齢(子どもは学年)・電話番号・参加回数を明記のうえ、申し込んで下さい。

申込先/岐阜県益田郡小坂町落合三三七六一 岐阜県

御嶽自然の家 ☎〇五七六一六二一
FAX ☎〇五七六一六二一
三六五五
七六一六二
一三六五九

御嶽自然の家 ☎〇五七六一六二一
FAX ☎〇五七六一六二一
三六五五
七六一六二
一三六五九



御嶽自然の家 ☎〇五七六一六二一
FAX ☎〇五七六一六二一
三六五五
七六一六二
一三六五九

生きがい事業

「もれびの里」花植え

花いっぱい春をこもれびの里に運んでくれたのは、生きがい事業に参加する五加地区の老人グループ。

おりしもグラウンドでは、加子母村との交流ゲートボール大会の開催日。

生きがい事業の参加者は少人数になってしまいましたが、花が大好きの人ばかり、花を植える作業もはかどり三十分ほどで植え終わりました。

これからシーズンのこもれびの里。訪れた人々もきつとこの庭に心なごまれることでしょう。

「ご飯まだ」と若いおばあさんにせがむ孫や「この農道の単価は」と評定するおとなたちで、いくつもの輪ができ、夏を思わせる暑さだが何故か心地好い気分であった。▼ふれあいウォークの締めくくりはパーベキューパーティで、おなかを空かした子どもたちは果敢に焼き肉にトライ。左手にビール、右手に箸のおとなたちは、なお忙しい。

▼「ふれあい」や「人情」というものが薄れつつある今の世の中、笑い声に包まれてひととき楽しく集落のふれあいには有意義な一日であった。(Y)



年々、道路の開設、改良が進む中、加舎尾からこもれびの里へ新たに農道が開設された。▼組長さん、村づくり推進委員さんの計画で、この新しい道路を利用して「みどりの日」に西洞ふれあいウォークが開催された。▼このイベントには老若男女約五十人が参加し、和気あいあいとスタート。全長六百メートルほどが上り勾配のこの農道、ふだんは車で通勤する小生は、少し疲れて四百メートルで小休止。

「ご飯まだ」と若いおばあさんにせがむ孫や「この農道の単価は」と評定するおとなたちで、いくつもの輪ができ、夏を思わせる暑さだが何故か心地好い気分であった。▼ふれあいウォークの締めくくりはパーベキューパーティで、おなかを空かした子どもたちは果敢に焼き肉にトライ。左手にビール、右手に箸のおとなたちは、なお忙しい。